

南信州広域連合第1回広域連合会議 結果報告

日時：平成31年4月12日(金) 15:30~17:02

場所：県飯田合同庁舎301号会議室

【出席者】14市町村長（売木村副村長代理出席）、飯田市副市長
〔南信州地域振興局〕土屋局長
〔飯田建設事務所〕丸山所長
〔飯田保健福祉事務所〕手塚副所長
〔町村会〕岡庭事務局長
〔飯田広域消防〕赤羽目消防長、有賀消防次長兼総務課長
〔飯田環境センター〕北原事務長
〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長・加藤次長補佐兼庶務係長
櫻井次長補佐兼広域振興係長・秋山介護保険係長・宇佐美庶務係主事

1 開 会…15:30

2 広域連合長

年度初めに大変大きな林野火災が喬木村で発生した。飯田市では、昨年、一昨年とあり、伊那山地系では3年連続で自衛隊の出動要請となった。乾燥した時期でもあるので、火の元にはご注意ください。

本日は、南信州観光公社、リニア関連の調査報告などいくつかの協議・報告事項がある。

これから令和の時代になるが、新たな時代に向けて広域連合として一丸となってしっかりと邁進していきたい。

3 協議・報告事項

(1) 平成31年度（令和元年度）職員体制、新任職員紹介について（資料No.1）【説明者：高田事務局長】

- ・異動等による着任職員の紹介
- ・消防は有賀消防次長から説明

→ 説明内容確認、質疑なし

(2) 株南信州観光公社の組織及び運営について（資料No.2）【説明：株南信州観光公社】

- ・昨年12月21日に、日本版DMOの地域連携DMOに登録が完了した。
- ・職員体制は9名から13名となった。
- ・昨年、飯田観光協会が解散したことに伴い、その主要な事業を継承している。

ア DMOの形成・確立に関する事業計画

イ 2018年度南信州地域の観光に関するアンケート調査結果（抜粋）

- ・KPI指標とは、DMOで必ず把握しなければいけないもの。訪問者の満足度、リピート率など、県の平均より低い状況。
- ・総合的評価は、県全体と比較すると低いのでまだまだ改善しなければいけない。
- ・個別評価は、「景観や雰囲気」は高評価。
- ・体験プログラム等に参加しなかったが58%というのは、全国的に見ても良い数字である。

→ 説明内容確認、質疑なし

(3) リニア時代に向けた新施設の整備に関する検討について（資料No.3）

【説明：三菱UFJリサーチ&コンサルティング】

- ・ 前回10月23日に中間報告をした。今回はその残りの部分を報告する。
- ・ 全国のスタジアム・アリーナ新設・建替構想
- ・ 事業費等の推計

○パターン1、RC・SRC造の場合、事業費約90億円。年間維持費約1億9,500万円で、約5,000万円～1億6,000万円/年の赤字。大規模修繕の積立を含めた場合、約1億4,000万円～2億5,000万円/年の赤字。

○パターン2、鉄骨造の場合、事業費約45億円。年間維持費6,000万円とすると、約2,500万円の赤字～8,000万円/年の黒字。さらに、大規模修繕を15億円とすると約5,000万円/年の積立をすることとなり、約1億円の赤字～3,000万円/年の黒字。

○これらの試算は、1席当たりの単価により大きく変動する。収支に事業費の償還は含まない。

- ・ まとめ

これまで当地域にはアリーナ等がなく手持ちのデータが少ないため、事業性の判断がしにくい。収支以外で、建設することの意義や目的が関係者間で共有されていないと次の議論に深まっていけない。

→ 説明内容確認、質疑なし

(4) リニア駅周辺デザイン会議の報告について（資料No.4）【説明者：飯田市リニア推進部】

- ・ 3月26日第5回デザイン会議において報告した基本設計・デザインノート完成までのスケジュール
- ・ 基本設計は計画及び概算事業費について平成30年度未完了を目標としていたが、半年間延長し9月末までに完了予定。
- ・ デザインノートは基本設計を取り入れた基本方針であり、計画の柱としてまとめたもの。

(主な意見等)

- ・ 阿智村：20ページに記載の民間事業者との打合せについて、周辺にレンタカー、ホテル等の民間事業所が乱立される可能性もあるが、その周辺開発も含めて民間業者と打合せをしてくのか。
- ・ 市リニア：現在、民間業者が参画して検討しているのは、16ページに記載の「いざなう」という項目の図面上、青い破線で囲まれている部分について打合せをしている。
デザイン会議で駅前空間、さらにその外側についても、その結びつきを検討すべきという話が出ている。今後はその部分についても検討していきたい。
- ・ 阿智村：飯田市には高さ制限もあるという話を聞いている。機能性を持たせた周辺というものの方が大事だと思うので検討してほしい。

(5) 桜の開花宣言について（資料No.5）【説明者：櫻井次長補佐兼広域振興係長】

- ・本年の桜の開花は4月1日。平年より3日早く、昨年より5日遅い。
 - ・飯田市大宮通りの標本木に今年はずぼみが見られなかったため、老朽化による影響と考え馬場町の旧飯田測候所の桜を標本木とすることとした。
 - ・来年以降の標本木については、気象アドバイザー等桜に詳しい者と相談しながら決めていきたい。
- 説明内容確認、質疑なし

(6) 飯田広域消防本部から（資料No.6）【説明者：有賀消防次長兼総務課長】

- ・平成31年1月1日～3月31日の火災の傾向
- ・前年と比較し火災件数は2件減少、建物火災は5件増加。
- ・資料1枚目裏面は、市町村別の火災発生状況と飯田市の地区別火災発生状況を掲載するところ手違いにより飯田市の地区別のみ掲載となった。市町村別の火災発生状況は、4月9日現在で42件、昨年度比2件増加。後日、市町村に改めて配布する。

(主な意見等)

- ・根羽村：建物火災が増えているが、出火原因はどういうものか。
- ・消防次長：出火原因別にみると様々。一つの原因が増えているわけではないので特徴的なものはない。

(7) いいむす21登録判定について（資料No.7）【説明者：櫻井次長補佐兼広域振興係長】

- ・新システムにおける更新審査 2件の審議
株式会社ミナミ 94ポイント
株式会社ヨシカズ 97ポイント
 - ・取組宣言事業所 阿南町役場から今回出された。
- 異議なし、承認

(8) 後援依頼について（資料No.8）【説明者：加藤次長補佐兼庶務係長】

後援依頼1件「いいだ人形劇フェスタ2019」

→ 異議なし、承認

(9) その他

豚コレラ防疫対策に係る南信州地域の防疫強化について

【説明：長野県飯田家畜保健衛生所 矢彦沢防疫課長】

- ・愛知、岐阜で発生が続き、危機にさらされている状況。
- ・当地域へのしから豚コレラウィルスが持ち込まれるリスクが高まっている。

(主な意見等)

- ・喬木村：昔は豚コレラのワクチンを打っていたと思うが、なぜ打てなくなったのか。

- ・県衛生所：経口ワクチンは、岐阜県、愛知県で3月から実施。以前は、ワクチンは全頭接種していたが、国の施策としてワクチンをこれから打つのは時間を要することもあり、欧州国で実施されている経口ワクチンで対応している。今後、発生が多い件についてはワクチン接種があるかもしれない。

4 長野県

(1) 南信州地域振興局から

- ア 長野県議会選挙について、選挙啓発等のお礼
- イ 平成31年度南信州地域の横断的な課題について
- ウ U、Iターンの促進について
- エ 信州の農業資産に関する促進について パンフレット作製
- オ 山火事について
 - ・3年連続自衛隊が出動する事態となった。重く、深刻に受け止めている。
 - ・3月から5月までの間、春の山火事予防運動を展開しているが、山火事が続いている状況を見ると、この運動の方法、中身に欠けている点があるかもしれない。強化を図る必要がある。
 - ・市町村についても、防災無線、広報車を活用、消防団との連携による予防活動などに取り組んで頂きたい。

(2) 飯田建設事務所から

4月1日から事務所長を務めている。

南信州の安全安心、にぎわいのある、持続ある町づくりに向けて、広域連合と一緒に社会基盤の整備等を行いたいと考えている。

(3) 飯田保健福祉事務所から

→ 報告事項なし。

5 当面の日程について

- 4月27日（土） 14：00 医療職就職ガイダンス（飯田女子短大）
- 5月10日（金） 10：00 広域連合議会臨時会の告示、議会運営委員会
- 5月27日（月） 13：30 広域連合議会臨時会

6 その他

- ・高森町：高森町では産業用地を売り出しているが、相手方の業者から、南信州全域としては企業誘致をどのように考えているのか聞かれることがある。
南信州地域の企業誘致に関する全体調整は、広域連合が行うのか、長野県が行うのか。

- ・地域振興局：県もそこは大きな課題と捉えている。どの地域にどのような企業を誘致するのか、戦略的な企業誘致が必要。優遇措置の展開方法なども。他県に負けない企業誘致を行うべく、現在検討しているところ。

7 閉会…17:02